

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和4年6月30日

釧路市議会議長 松永 征明 様

会派名 自民市政クラブ

代表者名 草島 守之



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	草島 守之、三木 均、山口 光信
出張先	南富良野町
期間	令和4年5月31日(火)～令和4年6月1日(水) 2日(1泊)
用務	道の駅再編の取り組みについて
調査(研修)結果等の概要	別紙参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

道の駅南ふらの再編整備計画について

南富良野町では、人口が約1万1千人をピークに2020年には約2300人まで大幅に減少し、地域社会の存続に向けて、人口減対策が急務な状況になりました。

まちに賑わいを取り戻すための稼ぐ重要な観光入込については、南富良野町への観光客は日帰り客が92.2%と多く、明らかな通過型で自然環境や自然体験型観光メニュー、アウトドアガイド人材など恵まれた地域にもかかわらず、PR不足や営業力不足、他地域にない差別化できる地域特性を活用できていなく、さらに通過型により、地域経済にも大きく影響を与え、まちの存続をも関わる深刻な状況でした。

そこで、南富良野町は観光客や地域活性化のために、年間30万人が来場できる町の最大誘客施設である道の駅と特徴的な地域資源であるアウトドア環境を活用し、国内屈指のアウトドアメーカー、モンベル社と地域の食・アウトドア事業者と連携し誘客事業を展開することを決め、新たな誘客施設として、総事業費11億円、うち国庫補助5億円、地方債5億円、地元負担額1億円での施設整備を進めています。さらに、道の駅再編整備に関連した取組みとして、民間投資によるホテル整備事業、積水ハウスとマリオネットによる地方創生事業

として展開されています。

そのことにより、通過型ではなく滞在型となり、雇用や経済活性化、公園設備を行うことで、賑わいを集める施設としての形成が図られています。

当日は、平日にもかかわらず地元町民や観光客で賑わいをみせており、釧路市の阿寒道の駅において、今後の可能性が考える施設の視察となりました。



